

まちづくり推進組織の会議記録

会議の名称	平成17年度第2回かごしままちづくり会議
開催日時	平成17年5月30日(月) 15:00~16:00
開催場所	マリンプア喜入八幡温泉保養館2階第1会議室
出席者 (委員) (市職員)	委員13名、市職員4名 宮廻会長、津曲副会長、西園委員、萩原委員、今別府委員、四元委員、槐島委員、岩元委員、岡本委員、中迎委員、奈良迫委員、野口委員、新地委員 宇治野企画部参事、中園企画調整課主幹、その他関係職員
傍聴者数	0名
事務局	鹿児島市企画部企画調整課
会次第	1 開会 2 報告 (1)平成17年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について (2)平成16年度第2回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的事項) (3)平成17年度第1回地域まちづくり会議について 3 協議 (1)合併後の本市のまちづくりについて 4 その他 5 閉会
会議の概要	1 開会 2 報告 (1)平成17年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について 事務局から、平成17年度第1回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について説明。 (2)平成16年度第2回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項) 事務局から、平成16年度第2回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項)説明。 (3)平成17年度第1回地域まちづくり会議について 事務局から、平成17年度第1回地域まちづくり会議について説明。 委員から、喜入地域まちづくり会議の転入・転出等の異動情報を集落長等へ提供してほしいとの意見については、個人情報保護の関係があるとの説明がなされているが、町内会等の未加入者対策に関する事なので検討方をお願いしたい旨の補足説明あり。

3 協 議

(1) 合併後の本市のまちづくりについて

委員から、喜入地域の視察によってリュウキュウコウガイ自生地などを知ることができた。このように他の地域についてはわからないことも多いので、コミュニティの目線でコミュニティの中の宝物をもっと輝かせるようなアイデアをコミュニティから出してもらい、それを輝かせるまちづくりを行ってほしいので、前回発言した意見の調査・検討を是非お願いしたい旨の意見あり。

会長から、地域まちづくり会議においても、そのような意見が出てくることが期待できるか発言あり。

委員から、私は期待できるのではないかと考えているし、期待に応えなければいけないと思う。これまでは、合併に伴う手続きを含めたサービスの変更による戸惑いに対する意見が出てきているが、もう少し時間はかかるが提言を行えるようにしていきたいと考えている旨の発言あり。

会長から、各地域まちづくり会議の会長におかれては、地域の目線からまちづくりに関するアイデアが出てくるようなことを念頭におかれて会議運営を行ってくださるようお願いしたい旨の発言あり。

委員から、旧5町域に限らず、旧鹿児島市域でもそのような動きが出てくることを期待したい旨の発言あり。

委員から、これまで喜入地域は通過するだけで現場を見るのは実質的に初めてであり、いろいろな発見をすることができた。やはり、情報発信、情報提供というのはまちづくり会議では大事なことだと思う。先ほどコミュニティの話が出ていたが、旧5町域の町内会等はどのような活動等を行っているか質問あり。

委員から、郡山地域では、コミュニティの基本単位としては町内会に当たる自治会が28ある。活動は、道路や河川の清掃、敬老会の開催、あいご活動、郷土芸能保存など様々な活動を行っている。合併後補助金が削減され財政的にも厳しくなっているが、活動を縮小しながら対応している。合併を機にコミュニティ組織はある意味で岐路に立っている感じがする旨の発言あり。

委員から、コミュニティの基本は町内会であるが、町内会は任意団体であり、数世帯から何千世帯で設立されているところもある。元々町内会というのは隣近所との付き合いであり、お互いに助け合えるということが成り立たないと必要がない。町内会に加入しないのは、以前から加入するメリットがないということが言われており、また、運営する役員のなり手がいないという状況もある旨の発言あり。

委員から、交通計画については、10年後、20年後を見越した方向性があっていいのではないか。渋滞や環境問題をはじめ、将来の高齢化社会などを考えると、鹿児島市が持続的に発展するためには、車社会をある程度抑

制しながら、公共交通を発展させた方がいいと思う。だから、もっと公共交通同士を網の目のように整備し、車を使わないで公共交通が使えるような環境を作るといった方向性を出していけばいいのではないかとの発言あり。

委員から、公共交通は重要であり、パークアンドライドなどの試みがなされているが、一方では、バス事業者の抱えている経営的な問題など難しい問題があると思う。公共交通網については、再構築しないといけないと思う旨の発言あり。

委員から、合併により水際線が増え、桜島一周を含めれば100キロ近くあると思う。旧鹿児島市では約30キロの水際線の中で堤防がないところは数百メートルしかない。港湾に関しては国や県の所管であったりするが、この水際線については見直しをしていく必要があるのではないかとの発言あり。

委員から、先ほど交通に関する発言があったが、喜入地域や郡山地域などは幹線道路が片側一車線しかなく、そこに通勤の車や建設・流通などのトラックなどすべての車が集中しており、地域では幹線道路をもう一本作ってほしいとの要望もある。理想的なバス交通を主体とした公共交通の整備はよくわかるが、それ以前の問題だと思うので、地域の実情や特性も踏まえた上で考えないといけないと思う旨の発言あり。

委員から、5地域の基幹産業は農業であり、農業の活性化がこれからの大きなテーマだと思う。新たな視点で鹿児島市全体の農業について考える必要がある旨の発言あり。

委員から、生見海水浴場の整備は砂の流出など県との関係もあるが、シャワー室や表示看板の整備など少しずつ改善を行い、人が呼び込める場所にしてほしい。そうすることによって、喜入地域は遠いという意識も取り除かれ、親しみが湧いてくるのではないかとの発言あり。

委員から、生見海水浴場については、新市まちづくり計画において整備の検討が記載されており、リュウキュウコウガイの自生地とあわせて整備の検討を希望しているところである旨の発言あり。

委員から、喜入地域には青海苔やトコロテンなど素晴らしいものがあり、小さなことだが情報発信をしていけば販路も広がってくるのではないか。石油基地があるが水質的には問題はないのかとの発言あり。

委員から、石油基地では安全操業に一番力を入れており問題はないと思う旨の発言あり。

委員から、合併に伴い豊富な農業を有することになったので、鹿児島市の農業戦略を作るべきではないか。どのマーケットをターゲットとし、どのような流通を行っていくのかなど、現在どのように考えているのか示して欲しい旨の発言あり。

会長から、JAとの関係や商品ごとにその戦略に違ってくることになると思うが、新市として今後農業をどのようにしていくかということを考える必

	<p>要がある旨の発言あり。</p> <p>委員から、例えば喜入地域は指宿農協との関係があるなど、流通を含めて専門的に協議する必要があると思うので、そのような実情を含めて検討をしていただきたい旨の発言あり。</p> <p>4 その他</p> <p>会長から、次回は7月25日(月)午後開催予定である旨の説明あり。</p> <p>5 閉 会</p>
--	---